

AERC 愛知県環境調査センター

Aichi Environmental Research Center



愛知県環境調査センター（名古屋市北区）



愛知県環境調査センター東三河支所（豊橋市富本町）

愛知県環境調査センターは愛知県の環境行政を科学的・技術的に支える調査・研究機関として昭和45年に設置されました。

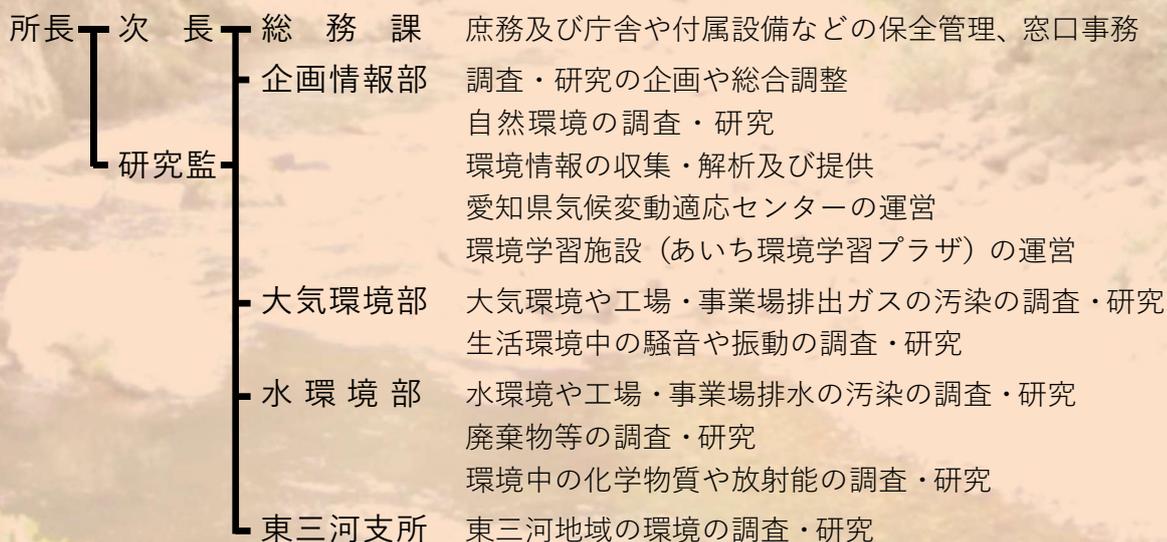
県民の健康と生活環境を守り、また県土の良好な環境を確保するため、調査・研究に取り組んでいます。

調査結果は環境保全行政に活用され、また研究成果は広く情報発信しています。

沿革

- S45.4 愛知県公害調査センター設置
- S47.3 名古屋市北区に移転
- S47.7 豊橋市富本町に東三河支所設置
- H7.4 愛知県環境調査センターに改称
- H11.4 1課5部1支所に改組
- H31.3 気候変動適応センター設置
- H31.4 1課3部1支所に改組
- R2.4 新庁舎の全面供用開始
- R2.4 あいち環境学習プラザオープン

組織



調査・研究の企画や総合調整及び情報発信

当センターの調査・研究の成果を広く情報発信するため、所報の発行、研究発表会の主催などの企画や総合調整に関する業務を行っています。

自然環境の調査・研究

愛知県に生息する鳥類の実態を把握するための調査を行っています。

また、県内の野生動植物種の生息・生育状況の調査・研究を行い、レッドデータブック、ブルーデータブック作成などの情報整備を行っています。

環境情報の収集・解析及び提供

環境法令等に基づく事業者からの届出情報の運用管理や、大気・水質等の環境調査結果等の環境情報の収集・解析を行っています。

さらに、環境情報のインターネット公開や専門図書室の管理運営もを行っています。

愛知県気候変動適応センター

県内における気候変動の影響や適応に関する情報を収集し、地域へ情報提供などを行うことで、事業者、県民等の各主体への適応への取組を一層促進する拠点となっています。

あいち環境学習プラザ

本県の環境学習を担う拠点として、体験型の展示やセンターに整備した先進的な新エネ・省エネ設備を活用した環境学習を実施しています。



研究発表会の開催



鳥類の生息状況の調査



絶滅危惧種 ミカワサンショウウオ

気候変動の影響に備える

水分補給で
熱中症予防

感染症予防のため
虫刺されに注意する

堤防を高くして
水害から守る

高温でも育つ農作物の
品種開発や栽培

てきおうさく
適応策

気候変動の影響に備えるために必要な適応策事例



あいち環境学習プラザ

大気環境の監視及び調査

大気汚染の常時監視や大気環境測定車による沿道大気の調査を行っています。

また、フロンなどの温室効果ガス、トルエンなどの化学物質、微小粒子状物質（PM2.5）の成分などについて定期的に監視及び調査を行っています。

工場・事業場排出ガスの調査

ばい煙測定車を用いて工場・事業場からの排出ガスに含まれる硫黄酸化物、窒素酸化物、ばいじん、揮発性有機化合物などを採取・測定し、排出状況の調査を行っています。

悪臭の調査

工場・事業場から発生するアンモニア等の特定悪臭物質や臭気指数の調査を行っています。

アスベストの調査

建築物等解体工事現場において、アスベストの飛散の調査を行っています。

大気環境保全のための調査・研究

大気環境行政の基礎資料とするため、光化学オキシダントや微小粒子状物質（PM2.5）等の調査・研究を行っています。



トルエン等の化学物質の分析
(ガスクロマトグラフ質量分析装置)



大気環境測定車による沿道大気の調査



ばい煙測定車による
工場・事業場排出ガスの調査



工場・事業場排出ガスの採取・調査



建築物解体現場の敷地境界でのアスベストの調査

大気環境部

騒音・振動部門

航空機騒音及び新幹線鉄道騒音等の調査・研究

県営名古屋空港周辺及び中部国際空港周辺において、航空機騒音の調査・研究を行っています。
また、東海道新幹線の沿線においては、鉄道騒音及び振動の調査・研究を行っています。



航空機騒音調査



新幹線鉄道騒音等の調査

水環境部

廃棄物部門

産業廃棄物の調査・研究

工場・事業場から排出される汚泥などの産業廃棄物について、有害物質（重金属類等）の溶出量の調査・研究を行っています。



産業廃棄物の分析（試料の前処理）

最終処分場の調査・研究

最終処分場の排水や周辺地下水、また、最終処分場跡地から湧出するメタンなどのガス成分の調査・研究を行っています。



最終処分場跡地から湧出するガスの調査

河川水等の監視及び調査

河川、湖、海などの水質や底泥の定期的な監視及び調査をしており、そのデータ解析等も行っています。

土壌・地下水の調査・研究

土壌や地下水の調査・研究を行っています。
基準値の超過が確認された場合には、汚染状況や原因を調べるとともに、定期的に測定して、汚染を継続監視しています。

工場・事業場の排水の調査

工場・事業場の排水を分析して、有害物質や汚濁物質の排出状況の調査を行っています。

水質保全のための調査・研究

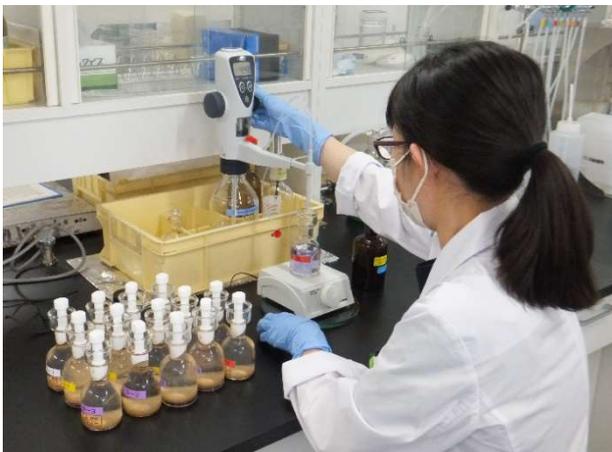
河川や海の監視結果を基に、汚染状況とその原因を解析するほか、内分泌攪乱物質（環境ホルモン）や農薬等の化学物質の調査・研究を行っています。



河川水の調査（採水作業）



海底の泥の採取



工場・事業場排水の分析



河川水、地下水の分析
（ガスクロマトグラフ質量分析装置）

ダイオキシン類の調査・研究

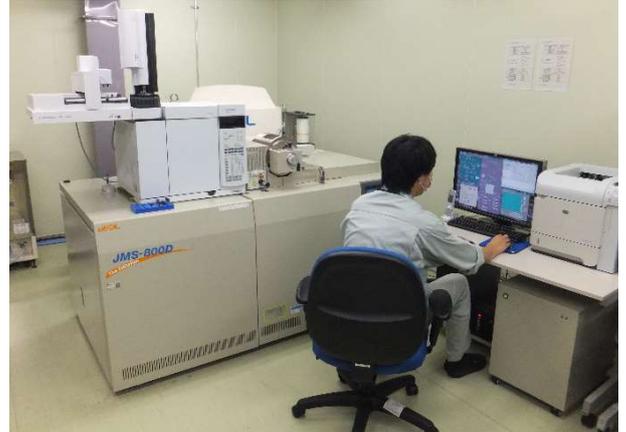
工場・事業場からの排出ガスや排出水に含まれるダイオキシン類の調査を始め、環境中のダイオキシン類の調査・研究を行っています。

化学物質の調査・研究

河川・海の水、魚などに含まれる化学物質の調査・研究や、化学物質の新たな分析法の開発などを行っています。

環境放射能の調査・研究

環境大気中の放射線量を連続測定するとともに、雨、ちり並びに水道水などに含まれる放射能の調査・研究を行っています。



ダイオキシン類の分析
(高分解能質量分析装置)



化学物質の分析法開発
(ガスクロマトグラフ質量分析装置)



ダイオキシン類の分析
(試料の前処理)



放射能の分析
(ゲルマニウム半導体核種分析装置)



環境大気中の放射線量の測定
(モニタリングポスト)



大気環境の調査・研究と悪臭の調査

地球環境問題の一つである酸性雨の調査・研究を行っています。

また、工場・事業場から発生する悪臭の調査も行っています。

河川水等の監視及び調査

河川、海などの水質や底泥を定期的に監視及び調査をしており、そのデータ解析等も行っています。

地下水の調査・研究

地下水の調査・研究を行っています。

基準値の超過が確認された場合には、汚染状況や原因を調べるとともに、定期的に測定して、汚染を継続監視しています。

工場・事業場の排水や廃棄物の調査

工場・事業場の排水や廃棄物最終処分場の排水等を分析して、重金属などの有害物質、汚濁物質の排出状況の調査を行っています。

環境学習

市町村や学校等からの依頼により環境学習を行っています。

環境放射能の調査

環境大気中の放射線量の連続測定や雨などに含まれる放射能の調査を行っています。



酸性雨の分析（イオンクロマトグラフ）



酸性雨の調査（乾性沈着物サンプリング）



環境学習の様子



酸性雨調査（雨水自動採取装置）



重金属の分析（原子吸光分析装置）

愛知県環境調査センター

〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6

TEL

総務課

052-910-5490

企画情報部

052-908-5112

自然環境

052-910-5486

環境情報

052-910-5489

愛知県気候変動適応センター

052-908-5150

あいち環境学習プラザ

大気環境部

052-910-5492

052-910-5487

水環境部

052-910-5497

052-910-5495

FAX

共通

052-991-6241

あいち環境学習プラザ

052-916-0516

E-mail kankyo-c@pref.aichi.lg.jp



(交通) 名古屋駅から地下鉄桜通線に乗り、久屋大通駅で地下鉄名城線に乗り換え、志賀本通駅で下車、徒歩15分(所要時間約35分)、又は地下鉄名城線の平安通駅で地下鉄上飯田線に乗り換え、上飯田駅で下車、徒歩6分(所要時間約40分)

愛知県環境調査センター東三河支所

〒441-8064 豊橋市富本町字国隠 20-8

TEL 0532-46-2115

FAX 0532-29-9274

E-mail kankyo-c-higashimikawa@pref.aichi.lg.jp



(交通) 新豊橋駅から豊橋鉄道渥美線に乗り、愛知大学前駅で下車、徒歩5分(所要時間約20分)

ホームページ

<https://www.pref.aichi.jp/kankyo-c/>

ハギクソウ

海岸の砂地に生育する多年生草本。愛知県のレッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類に位置付けられており、また、自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例第35条で規定する「指定希少野生動植物種」にも指定され、同条例第38条により採取等が禁止されています。

